

化学品の名称: #713 アルミクラフト
SDS 整理番号: 0004
作成日: 2015-11-30
改訂日: 2022-04-01(第2版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|-------------------|--|
| 化学品の名称 | #713 アルミクラフト |
| 供給者の会社名称、住所及び電話番号 | |
| 会社名 | デンカ株式会社 |
| 住所 | 東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号(日本橋三井タワー) |
| 担当部門 | 高機能粘接着材料部 |
| 電話番号 | 03-5290-5546 |
| ファクシミリ番号 | 03-5290-5777 |
| 緊急連絡電話番号 | 0467-45-1121(デンカ株式会社 大船工場 製造第一部 テープ・フィルム課) |
| 推奨用途 | 断熱材固定用 |
| 使用上の制限 | 人体への使用は禁止。 |

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

成形品のため分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

| | |
|-----------|----|
| 絵表示又はシンボル | 無し |
| 注意喚起語 | 無し |
| 危険有害性情報 | 無し |

注意書き
この製品は GHS 危険有害性分類がないが、安全上の観点から、次の注意事項に従うことをお勧めする。

【安全対策】 火気を近づけない。

密閉された場所で使用する場合には、換気を行う。

有機溶剤との接触を避ける。

【応急措置】 燃焼ガスを吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移す。何れの場合も異常を感じる様であれば、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：皮膚が過敏な方は、粘着剤が付着した部分が、腫れたり、かぶれたりする可能性がある。そのような症状が出た場合には、直ちに医師に診察/手当てを受けること。

化学品の名称: #713 アルミクラフト
SDS 整理番号: 0004
作成日: 2015-11-30
改訂日: 2022-04-01(第2版)

眼に入った場合：本製品自体が目に入ることは無いが、切れ端や破片等が目に入った場合には眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で最低 15 分以上洗い流す。

飲み込んだ場合：できるだけ吐き出させる。異常認められた場合は、医師に診察/手当を受けること。

【保管】 変質(変形)を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱及び急激な温度変化等を避けて常温で保管する。

火災を防止するため、火気、熱源、発光源から離れた場所で保管する。

【廃棄】 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し処理する。

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性：燃焼すると有毒なガス(一酸化炭素等)とすすが発生することがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 成形品(成分に関しては混合物として扱う)

化学名又は一般名 アルミ系クラフトテープ

| 化学名又は一般名 | CAS 番号 | 濃度又は濃度範囲 | 官報公示整理番号 |
|--|-----------|----------|----------|
| | | | 化審法・安衛法 |
| アルミ箔と晒クラフト紙との PE サン ドラミネート(基材) | 非開示 | 55~65wt% | - |
| 合成ゴム系粘着剤 | 非開示 | 25~35wt% | - |
| 不均化ロジン | 8050-09-7 | <1wt% | 7-935 |
| 紙管・その他(背面処理剤) | 非開示 | 5~15wt% | - |
| 危険有害成分 安衛法「名称等を通知すべき危険物及び有害物」該当成分 不均化ロジン | | | |

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 燃焼ガスを吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移す。 何れの場合も異常を感じる様であれば、医師の診察/手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 付着したまま放置しないで、付着物を皮膚からはがす。 はがす際には、急激にはがすと皮膚が粘着剤に取られることがあるので、ゆっくりとはがす。 皮膚が過敏な方は、粘着剤が付着した部分が、腫れたり、かぶれたりする可能性がある。そのような症状が出た場合には、直ちに医師に診察/手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合 | 本製品自体が目に入ることは無いが、切れ端や破片等が目に入った場合には眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で最低 15 分以上洗い流す。 |
| 飲み込んだ場合 | できるだけ吐き出させる。異常認めた場合は、医師の診察/手当てを受けること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------------------|---|
| 適切な消火剤 | 水、ドライケミカル、泡などを用いる。 |
| 使ってはならない消火剤 | データ無し |
| 火災時の特有の危険有害性 | データ無し |
| 特有の消火方法 | データ無し |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | 火災時、熱で溶融する可能性があり、燃焼時又は高温による溶融時には有害ガス(一酸化炭素等)が発生することがあるので、呼吸器用保護具、保護眼鏡、化学防護手袋を着用の上、風上から消火する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 作業の際皮膚に触れない様、保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | すみやかに掃き集めて紙袋等に回収する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----|--|
| 取扱い | 火気を近づけない。 工業用のテープのため、人体への使用はしない。 密閉された場所で使用する場合には、換気を行う。 有機溶剤との接触を避ける。 |
| 保管 | 変質(変形)を防止するため、直射日光、水漏れ、湿気、熱を避けて常温で保管する。 火災を防止するため、火気、熱源、発光源から離れた場所で保管する。 安全な容器包装材料：特に指定なし。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|-----------------------------|---|
| 管理濃度、許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標) | |
| 管理濃度 | データ無し |
| 許容濃度 | |
| ACGIH | |
| 不均化ロジン | TWA 0.001 mg/m ³ ⁽¹⁾ (DSEN); (RSEN) |
| 生物学的許容値 | データ無し |
| 設備対策 | 特に必要としない。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 通常は必要なし。 |
| 手の保護具 | 通常は必要なし。 |
| 眼、顔面の保護具 | 保護眼鏡<T8147>(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護服(長袖作業衣)を着用する。 <>内は、労働衛生保護具の日本工業規格。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------------|---------------------------|
| 物理状態 | 固体(フィルム状成形品) |
| 色 | シルバー |
| 臭い | 無臭 |
| 融点/凝固点 | データ無し |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データ無し |
| 可燃性 | データ無し |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃 限界 | 上限界: データ無し; 下限界: データ無し |
| 引火点 | データ無し |
| 自然発火点 | データ無し |
| 分解温度 | データ無し |
| pH | データ無し |
| 動粘性率 | データ無し |
| 溶解度 | 水: 不溶 溶剤: データ無し |
| n-オクタノール/水分配係数(log 値) | データ無し |
| 蒸気圧 | データ無し |
| 密度及び/又は相対密度 | データ無し |
| 相対ガス密度 | データ無し |
| 粒子特性 | データ無し |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|----------------------------------|
| 反応性 | データ無し |
| 化学的安定性 | 通常の取扱いにおいて安定。 |
| 危険有害反応可能性 | データ無し |
| 避けるべき条件 | データ無し |
| 混触危険物質 | データ無し |
| 危険有害な分解生成物 | 燃焼すると有害なガス(一酸化炭素等)とすすが発生することがある。 |

11. 有害性情報

急性毒性

経口: データ無し

経皮: データ無し

吸入: データ無し

皮膚腐食性/刺激性 粘着面に繰り返し触れると、腫れたり、かぶれたりする可能性がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 データ無し

呼吸器感作性 不均化ロジン: 区分 1(NITE)

皮膚感作性 不均化ロジン: 区分 1(NITE)

生殖細胞変異原性 データ無し

発がん性 データ無し

生殖毒性 データ無し

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) データ無し

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) データ無し

誤えん有害性 データ無し

12. 環境影響情報

生態毒性 データ無し

残留性・分解性 データ無し

生物蓄積性 データ無し

土壤中の移動性 データ無し

オゾン層への有害性 データ無し

13. 廃棄上の注意

化学品 (残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄に関する情報 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し処理する。

14. 輸送上の注意

| | |
|---------------------|---|
| 国連番号 | 非該当 |
| 品名（国連輸送名） | 非該当 |
| 国連分類 | 非該当 |
| 容器等級 | 非該当 |
| 海洋汚染物質（該当／非該当） | 非該当 |
| 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 | 直接日光、水濡れ、急激な温度変化等避け、梱包・包装の破損及び荷崩れ防止に注意する。 |
| 国内規制がある場合の規制情報 | 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従うこと。 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。 航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。 |

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

| | |
|---|---------------------------------------|
| 特定化学物質の環境 への排出量の把握等 及び管理の改善の促 進に関する法律（化管 法） | 非該当 |
| 労働安全衛生法（安衛 法） | 名称等を通知すべき危険物及び有害物 不均化ロジン（別表第9の632） |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 消防法 | 指定可燃物、合成樹脂類、その他のもの、指定数量 3000kg |

16. その他の情報

参考文献

- ・ JIS Z 7252 : 2019
- ・ JIS Z 7253 : 2019
- ・ 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
- ・ ACGIH(2021年版)
- ・ GHS 分類結果(NITE)

建築資材の固定を目的とする製品で、人体への使用を目的としたものではありません。

人体への使用は絶対にしないで下さい。

①本情報は、作成者の知識の及ぶ限りに於いて正確ですが、その内容の絶対的な情報の正確性、及び情報収集の網羅性については、完全ではありません。内容は代表的な実験値や調査に基づくもので、いかなる保証をなすものではありません。

②また、本情報は製品に関するものであり、この製品が他の素材と組み合わせられたり、処理された時は無効です。

③特に医療用途では使用しないで下さい。

④全ての製品を適切に使用する最終的決定の責任、及び本情報をユーザー独自の取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

⑤ご使用に際しては、必ず貴社にて事前テストを行い、使用目的に適合するかどうか及び安全性について、貴社の責任においてご確認ください。

⑥全ての材料には未知の危険性があり、取扱いには注意が必要です。このSDSには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないとは言えません。

⑦本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

以上